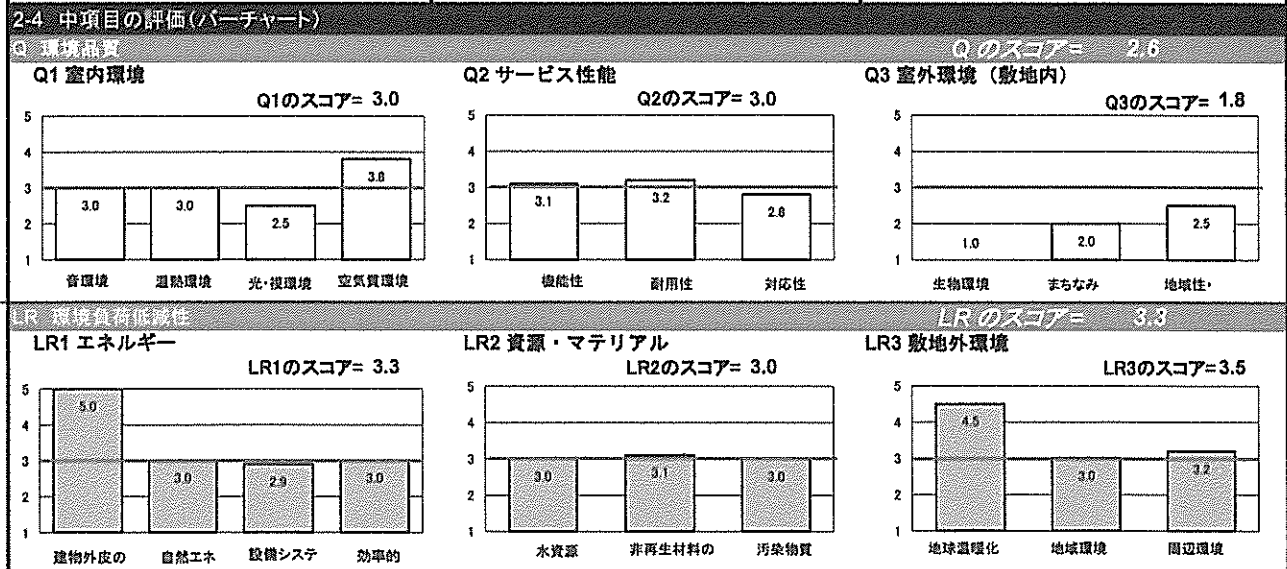
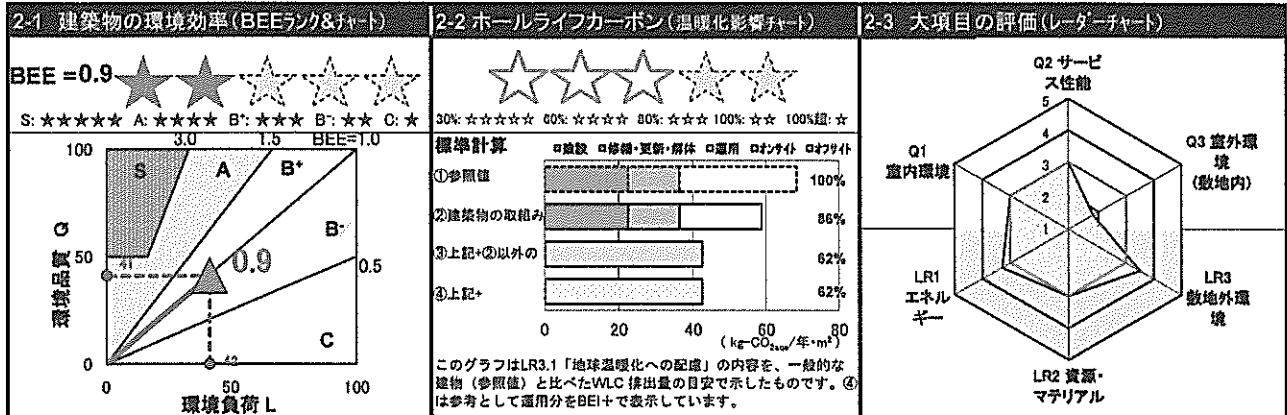
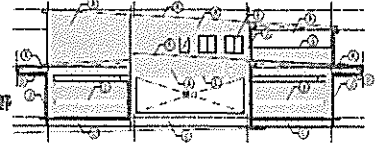


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都生活協同組合 山城支部	階数	地上2F、地下0F	
建設地	京都府相楽郡精華町新精台一丁目	構造	S造	
用途地域	市街化区域、準防火地域、高度地区	平均居住人員	160 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,750 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2026年4月13日	
敷地面積	7,595 m ²	作成者	天野建築設計事務所株式会社	
建築面積	2,752 m ²	確認日	2026年4月15日	
延床面積	4,125 m ²	確認者	天野建築設計事務所株式会社 天野 要	



3 設計上の配慮事項		
再生可能エネルギーを、建築物で使用する循環を計画し、環境へ配慮。		特になし。
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 適切な照度の確保を行っている。	事務室の天井高さ2.7m以上確保し、快適性を確保している。 給湯・排水配管: B、通気管: A相当の配管を採用している。	特になし。
LR1 エネルギー BEI=0.70	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が安易に分離できるように計画している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストについて、 屋外照明については過半、広告照明についてはほぼすべてを満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のことで、ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

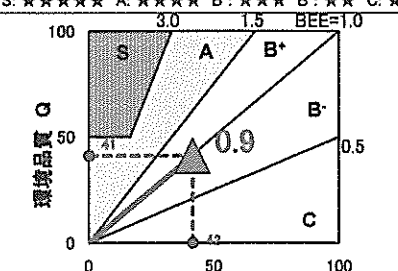
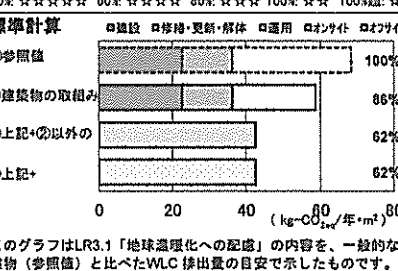
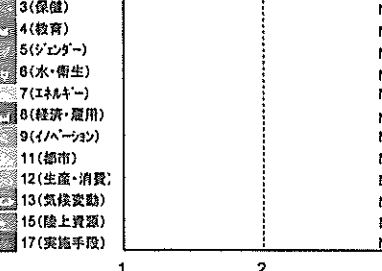
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

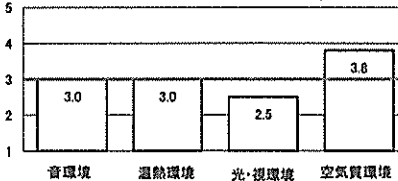
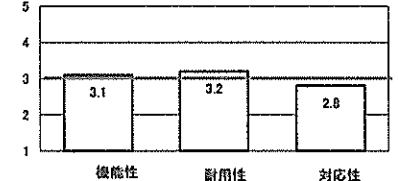
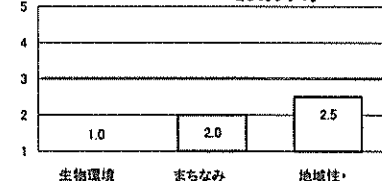
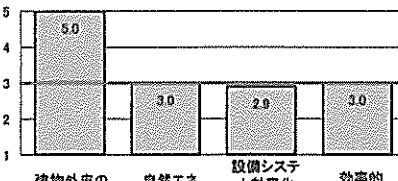
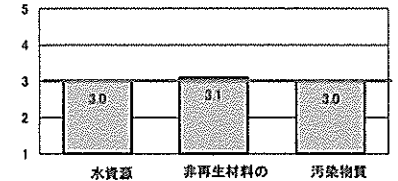
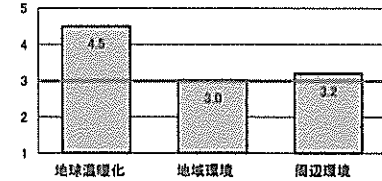
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_V1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都生活協同組合 山城支部	階数	地上2F、地下0F
建設地	京都府相楽郡精華町新精台一丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域、高度地区	平均居住人員	160 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,750 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2026年4月13日
敷地面積	7,595 m ²	作成者	天野建築設計事務所株式会社 天野 要
建築面積	2,752 m ²	確認日	2026年4月15日
延床面積	4,125 m ²	確認者	天野建築設計事務所株式会社 天野 要

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価結果 (レーダーチャート)
BEE = 0.9 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②の以外の ④上記② 	
* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています		

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q: 環境品質 Qのスコア = 2.6		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8 
LR: 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5 

3 設計上の配慮事項		
再生可能エネルギーを、建築物で使用する循環を計画し、環境へ配慮。	特になし。	特になし。
Q1 室内環境 F★★★★をほぼ全面的に採用している。 適切な照度の確保を行っている。	Q2 サービス性能 事務室の天井高さ2.7m以上確保し、快適性を確保している。 給湯・給排水管: B、通気管: A相当の配管を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEI=0.70	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が安易に分離できるように計画している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストについて、 屋外照明については過半、広告照明についてはほぼすべてを満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される